

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 4月 30日

団体名 NPO 法人 子どもの発達を支援する会きらら代表者 塩沢 美穂子構成員 10人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:子どもたちの健全育成に寄与することを目的とする。

心身障がい児とその家族及び関係者におもちゃと遊びを提供し、遊びを通じて生活を豊かなものにし、障がい児とその家族の福祉の向上に資することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

	場所	公益を受けたものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
2024年 6/22, 8/31, 11/30 2025年 1/25	岡崎げんき館 調理室	岡崎市内の就学後の障がいのあるお子さん	44人	『きらら料理教室』 食生活改善協議会の協力を得て、障がいのあるお子さんがボランティアやスタッフと一緒に調理を楽しむ事ができた。
2024年 6/8, 7/13, 8/24 9/14/10/12, 11/9, 2025年 1/11, 2/8, 3/8	つどいの広場 おひさま	岡崎市内の発達に心配のある就学前のお子さんと保護者とその家族	277人	『岡崎市おもちゃ図書館きらら』 おもちゃと遊び場を提供し、一緒に遊ぶ中で発達の遅れに対する心配や、子育ての悩みを共有できる。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。&lt;ex.自然環境&gt;

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

障がいのあるお子さんが家庭を離れ、余暇活動を楽しめる場として料理教室に参加できた。家族以外のボランティアやスタッフと一緒に調理を楽しむ事ができている。小学生から成人までの方が参加することで、年代ごとの悩みや、将来についての話し合いもでき、交流の場になっている。発達に心配のあるお子さんとその家族の方と、一緒に遊んだりお話を聞いたりする中で、日々の子育ての悩みなどをスタッフに相談でき、同じ悩みを共有できた。

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

毎回市民の方(障がいのあるお子さんや、発達に心配のあるお子さんとその家族の方)が楽しみに参加してくれている。子育てに悩む保護者の方々の気持ちを十分に汲みながら、専門機関へと繋げることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。

団体番号 613 団体名 NPO 法人子どもの発達を支援する会きらら